



ネットヨタ三重&つうぴー編集室 presents

部活応援隊が行く!!

津高等学校
ボート部
編

息を合わせて水面を進め!

津高等学校ボート部

1886年に創部し、これまで3度の全国優勝を成し遂げているボート部。国体にも出場経験があるなどの実績を誇ります。

Q1 部活の魅力は？

A1 (加藤さん) みんなで練習を乗り越えて、試合で最後まで漕ぎ切ったときに、達成感があります。練習は大変ですが、だんだんみんなの息があっってきたときは楽しさを感じます。

副部長 加藤 結貴さん (かとう ゆうき)



Q2 副部長として心がけていることは？

A2 (加藤さん) 部長だけに任せるんじゃないで、みんなを支えたりまとめたりしていくことを心がけています。

部長 倉島 沙空さん (くらしま さく)



Q3 ボート部の強みは？

A3 (加藤さん) つらい練習のときは、みんなで声を出したりお互いを励まし合ったりして、乗り越えています。

(須田先生) 和気 あいあいとしていて、自分たちで話し合いながら目標に向かって取り組んでいるチームだと思います。



Q4 現在の目標は？

A4 (加藤さん) インターハイ(高校総体)予選を勝ちぬぎ、インターハイへ出場することです。

(須田先生) インターハイ予選、東海総体を勝ち、インターハイでの上位進出が目標です。

二次元コードを読み取るとボート部のコメントが見られます。



Q6 今のチームの課題は？

A6 (加藤さん) 部員が揃う機会が少なく、他の学校に比べて練習時間がとれないことです。そのため、練習の質を高めて一回一回を大切にしています。

(須田先生) 和気あいあいとしている一方で、メリハリに欠けているところ、集中すべきときにしっかりやれるようになることが課題です。

Q7 部活を通じて、これから先生が取り組んでいきたいことは？

A7 (須田先生) 人として成長してほしい。自分たちで改善点を考えて行動できるようにしてほしいです。



Q5 部活を通じて生徒さんに学んでほしいことは？

A5 (須田先生) 集団で練習をするという経験は高校卒業以降はできなくなっていくと思うので、仲間と協力しながら一つの物事に取り組むという姿勢を大事にしてほしいです。



顧問 須田 健市先生



ネットヨタ三重はスポーツ・文化活動で頑張る団体さんの広報活動を応援します!